



秦野市立東小学校 令和2年11月24日発行

学校で学んでほしいことについて

先日、低学年の教室で次のような話し合いをしました。

私「みんな、学校は何をすることで思う?」、Aさん「勉強するところ。ぼくの仕事は勉強だってお父さんが言っていた」、私「そう、いいこと教えてもらったね。でもなんで勉強するのかな、おうちの人や先生に言われるからするのかな?」、Bさん「自分をよくするためだと思う」と別の子が発言すると、うなずいている子が何人もいました。私「なるほど、自分をよくするために勉強するってすごいね。」と伝えると、一瞬、座っているみんなの背筋がぴんと伸びたように感じました。

そのあと、Cさん「(学校は)自分だけじゃなくて、みんながよくなる場所」と発言した子がいました。私「そう、だからCさんはお友だちにわからないところを教えたり、やさしく注意したりしてくれてるんだね。」と伝え、教室にいるたくさんのお友だち、みんながよくなるために、何をしたらいいか考えました。

ご承知のとおり、学校は学習や生活上の問題を通して、「知識・技能」と「人とのかかわり方」を身につけていきます。間違えたり困ったりして正しいことを学ぶところでもあるので、間違えながらも自分をよくしようと、誰もが安心してのびのび過ごせるよう努めたいと思います。

その「人とのかかわり」を学ぶために大切にしなければならないことが2点あります。(これは私の恩師の教えです)1つ目は、子ども達がお互いのよい点に気付いて、認め合い、お互いによいところを伸ばしていくことができるようになることです。2つ目は、お互いに注意し合うことができ、注意されたことを受け入れ、一人一人がより良くなるための努力ができるということです。

人に「注意されるのは良くないこと」と思われがちですが、教室という学びの場では、注意(指摘)してもらえることは、自分にとって「ありがたいこと」と思えるよう働きかけています。そう思えるよう注意の仕方も大事です。相手を責めるのではなく、相手がよりよくなるよう相手を思いやって(ここが大事です)注意することが大切になります。こうした働きかけは、とっても大切だと思います。注意し合い、認め合い、助け合うことを学んでほしいと思います。

誰でも間違えることがあります。間違えながら正しいことを学んでいってほしいと思います。それはちょうど、自転車に乗れるようになるのと同じように、補助輪から始まり、後ろから押してもらって、さらに自分でふらふらしながら進み、乗れるのと似ています。小さく転びながら、上手になってほしいとそんなふうに思っています。もちろん安全はなによりも優先されます。

引き続き感染防止のお取組をおねがいします

さて、皆さんがご心配していらっしゃるのとおり、ここ数日の新型コロナウイルスの感染状況は、特に心配です。感染防止の取組は引き続き大切ですが、今後、市内や本校においても感染確認がなされることも考えられます。毎日の体調管理をしっかりやっても感染する場合があります。ぜひお互いに「優しく」対応していただければと思います。もちろん、命や安全が最優先です。個々のご事情をふまえながら、感染防止の取組を引き続き進めてまいりたいと思います。繰り返しになりますが、まずは、毎朝の体調管理をお願いいたします。具合が悪いときは無理はしないよう特にお願ひします。学校では、こまめな手洗いの徹底、マスクの着用(咳エチケット)、対面での会話を避けソーシャルディスタンス、換気、消毒等を引き続き進めてまいります。ご心配なことやお困りなことなどございましたら遠慮なくご相談ください。